

シンポジウム「今、木質バイオマスのエネルギー利用促進に必要な方策とは」	
開催趣旨	世界的に木質バイオマスエネルギーの主流は熱利用ですが、日本では 2000kW 未満の木質バイオマス発電においても、熱電併給を行っていないケースが大半です。小規模でも高い利用効率が見込める熱利用ですが、日本における木質バイオマスの熱利用は、進展しつつあるものの、まだまだ多くの課題があります。森林環境税などが浮上するなか、本シンポジウムでは、この木質バイオマスエネルギーの熱利用の現状と課題を整理し、具体的に今後どのような政策や補助制度が有効か、対策が求められるかについて、長年木質バイオマスの調査や事業に関わってきた方々に講演いただき、会場の参加者とともにディスカッションを行います。多数の方のご参加をお待ちしています。
日時	2017 年 5 月 12 日(金)13:30～17:00
会場	国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木神園町 3-1) 国際交流棟 2F 第1ミーティングルーム http://nyc.niye.go.jp/train/ 小田急線参宮橋駅より徒歩7分、千代田線代々木公園駅より徒歩 10 分
プログラム	13:30 開会挨拶 13:35 久木 裕氏(株式会社バイオマスアグリゲーション代表取締役) 「ヨーロッパの木質バイオマス熱政策と日本の課題」(仮題) 14:10 菅野 明芳氏(株式会社森のエネルギー研究所取締役営業部長) 「日本の木質バイオマス熱利用の現状」(仮題) 14:40 羽里 信和氏(一般社団法人徳島地域エネルギー常務理事) 「地域での木質バイオマスボイラー導入の課題」(仮題) 15:10 休憩 15:20 パネルディスカッション 久保山 裕史氏(国立研究開発法人森林総合研究所林業システム研究室室長) 松原 弘直氏(NPO 法人エネルギー環境政策研究所主席研究員) 久木 裕氏、菅野 明芳氏、羽里 信和氏 司会:相川 高信氏(公益財団法人自然エネルギー財団上級研究員) 17:00 終了 17:30～ 懇親会(センター棟 カフェ・フレンズ) ※プログラムが一部変更になる場合があります。
主催	NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク(BIN)
参加費	BIN 会員 1,000 円、一般 2,000 円